

学修支援資料デジタルアーカイブの共有化および成果の公開と評価に関する研究

グランドデザイン2040をめざす
岐阜女子大学の教学マネジメントの「今」
－実践をととして学びの質を追求する－

岐阜女子大学

岐阜女子大学教学マネジメント研究

岐阜女子大学では、建学の精神「人らしく、女らしく、あなたらしく、あなたならではの」の基に教育目標「教養ある専門性をもつ職業人養成を重視した教育を施す」を掲げています。この教育理念に基づいて三つのポリシーを一貫性あるものとして策定しています。

グランドデザイン 2040 を見据え、教育理念の実現のため 2009 年より「学びの内容」の質的向上を求めて、学修内容と行動目標表を定めてシラバスを構成してきました。同時に進めてきたのが、教育研究資料の整備と保管です。三つのポリシー、コア・カリキュラム、学習内容・行動目標、入学前課題、基礎の学び、専門教育、資格取得などの取り組み、テキストや資料の整備などを全学で進めてきました。これらの取り組みは、平成 21 年文部科学省学生支援推進プログラム「社会のニーズに対応した学士力と高い就職率・定着率を目指す」にも採択されました。

2015 年度から「学びの活動」の質的向上を求めて、教育研究資料を整備してきました。教育研究資料のうち、授業科目資料、資格関連科目資料、学修資料などは、岐阜女子大学 50 周年記念事業の一環として公開し、学内での活用を始めました。

2017 年度から、教育研究資料の整備をさらに進め、岐阜女子大学デジタルアーカイブの開発を行い、卒業論文の記録、保管、学内での公開を始めました。岐阜女子大学デジタルアーカイブの公開とともに、2018 年度から学修ポートフォリオの活用、2019 年度よりティーチングポートフォリオの活用を始めました。

これらの教育研究資料アーカイブの開発と活用、学修ポートフォリオ、および、ティーチングポートフォリオなどの活用により、学生の学びの質を向上させ、教員の教育の質を向上させるとともに、成果や課題を可視化して、三つのポリシーやカリキュラムなどの評価、改善を図っています。この研究成果は、2019 年 8 月 21 日の「岐阜女子大学教学マネジメント研究報告会」で公開しました。

本報告書は、この岐阜女子大学教学マネジメント研究の成果をまとめたものです。

第 I 部

グランドデザイン2040をめざす

岐阜女子大学教学マネジメント研究報告会

～学生の学びの内容・活動の充実と質の保証を求めて～

グランドデザイン 2040 をめざす
岐阜女子大学教学マネジメント研究報告会
～ 学生の学びの内容・活動の充実と質の保証を求めて ～

日時 2019 年 8 月 21 日 (水) 午後 1～5 時

場所 11 号館 5 階(11402 教室)

日程 学長挨拶

司会：黒見

文部科学省講演

「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」

文部科学省私学行政課 川村課長補佐

— 休憩 —

研究会

コーディネーター(林徳治教授)

研究報告 1

学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用 (三宅)

研究報告 2

学生の研究資料の記録と質の向上を目指して (井上)

研究報告 3

卒論のデジタル保管と活用 (櫛)

研究報告 4

ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上
～学びの質の向上と授業計画の向上～ (横山)

実践事例報告①

家政学部の実践から(笠井, 高橋, 森田)

実践事例報告②

文化創造学部の実践から(齋藤, 瀬戸, 山川, 櫛)

研究報告 5

学習支援資料の提供(吉村, 加藤, 石橋)

研究報告 6

ポリシーから見た評価(松井, 齋藤)

研究報告 7

ポリシーの改善(生田, 服部)

総括 (林徳治教授)

閉会の挨拶(富士)

グランドデザイン2040をめざす

岐阜女子大学の教学マネジメントの「今」
ー実践をとおして学びの質を追求するー

2019年8月21日

岐阜女子大学・沖縄女子短期大学・岐阜女子大学カリキュラム開発研究所

文部科学省講演

2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン

文部科学省私学行政課 川村課長補佐

詳細は別添資料

研究会

研究報告1	学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用	三宅茜巳
研究報告2	学生の研究資料の記録と質の向上を目指して	井上 透
研究報告3	卒論のデジタル保管と活用	櫟彩 見
研究報告4	ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上	横山隆光
	実践事例報告① 家政学部の実践から	笠井恵里、高橋正司、森田実沙
	実践事例報告② 文化創造学部の実践から	齋藤陽子、瀬戸敦子、山川結加、櫟彩見
研究報告5	学習支援資料の提供	吉村希至、加藤真由美、石橋豊之
研究報告6	ポリシーから見た評価	松井徹、齋藤陽子
研究報告7	ポリシーの改善	生田孝至、服部晃
総括	コーディネーター	甲子園大学 林徳治教授

スライド 4

スライド 5

学修ポートフォリオ

学習、スキル、実績を実証するための成果(work)を、
ある目的のもと、組織化／構造化しまとめた収集物

ノート、プリント、メモ、レポート、ブックマークや付箋
ファイルにまとめたプリントやワークシート
グループで作成した発表資料



メタ認知（自分を客観的に捉える）

理解を深める、興味や疑問を発見する

学修を深める

真性な学習、真正な評価
を行うためのツール
(社会的構成主義)

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

スライド 6

学修ポートフォリオ

学習を振り返る

リフレクション

学習の生起

内省

過去に起こった出来事の真意を探り、その経験
における自分のあり方を見つめ直すことで、同
じような状況に直面したときによりよく対処す
るための「知」を見出そうとする方法論



評価する活動を学習の活動に含める事が大切

評価が学習の一部として埋め込まれている

学習と評価は一体化され切り離す事はできない

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

学修ポートフォリオ

ポートフォリオの授業の日程・内容

期日	内容
6/10 第1回	- 学修ポートフォリオの意味 - 学修を振り返る - 学修成果を記録する
6/17 第2回	- Evernoteでの学修ポートフォリオの保管 - サイボウズでのティーチングポートフォリオメタデータの閲覧 - 情報モラル(ネットでの公開の危険性、個人情報、肖像権、著作権など)
6/24 第3回	- 学修ポートフォリオと本学の推進するブランディング事業 - 学修ポートフォリオの活用

何ができるようになったか？
何ができるようになりたいか？
そのために何をすべきか？

高校で
学んだこと

大学で
学ぶこと

目指すもの

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

学修ポートフォリオ作成方法の説明 (1年生の1コマ目)

タイトル 例) 理科基礎 2019/5/8 4コマ

①日時 例) 5月8日 水曜日 3時間目 小学校理科 模擬授業1

②キーワード

例) 理科基礎,物質,エネルギー,指導法,学習指導案,学習指導要領,3年,磁石,4コマ

③課題

例) 模擬授業：児童主体の授業とするために児童の発話から本時の「課題」を設定する

④授業の様子

模擬授業の学習指導案、記録写真、自己評価、他者評価、振り返り、改善案等

⑤振り返り

- ・成果 本時の成果をテキストで記載
- ・課題 次時の課題につながる本時の問題点や解決しなければならせないことをテキストで記載
- ・評価 本時の評価の観点に従って3段階で記載

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会			
全学的な教学のマネジメント	評価項目の決定	三つのポリシー改善のためのエビデンス	
学びの評価項目	数時間、または、前期・後期		
毎時間、または、数時間			
学修ポートフォリオ(授業)		学修ポートフォリオ(認知)	
P1	授業の見通しが持てた	P10	自分の力が分かった
P2	予習ができた	P11	自分の伸びが分かった
P3	授業(本時)の課題が分かった	学修ポートフォリオ(能力)	
P4	主体的な学修ができた	P12	創造力がついた
P5	対話的な学修ができた	P13	計画力がついた
P6	深い学びができた	P14	論理的思考力がついた
P7	意欲的に取り組めた	P15	分析力がついた
P8	授業が理解できた	P16	チームワークの力がついた
P9	復習ができた	P17	コミュニケーション力がついた
		P18	リーダーシップの力がついた
		P19	行動力がついた
		P20	プレゼンテーション力がついた
		P21	社会的責任持てるようになった
研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用			

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

全学的な教学のマネジメント

評価項目の決定

三つのポリシー改善のためのエビデンス

学びの評価項目

毎時間、または、数時間

学修ポートフォリオ(授業)

P1

授業の見通しが持てた

P2

予習ができた

P3

授業(本時)の課題が分かった

P4

主体的な学修ができた

P5

対話的な学修ができた

P6

深い学びができた

P7

意欲的に取り組めた

P8

授業が理解できた

P9

復習ができた

科目特有の項目
(理科基礎模擬授業の場合)

学修ポートフォリオ(科目)

P51

見通しを持った観察実験の指導ができた

P52

安全な観察実験の指導ができた

P53

正しい観察実験の指導ができた

P54

正しい結果処理の指導ができた

P55

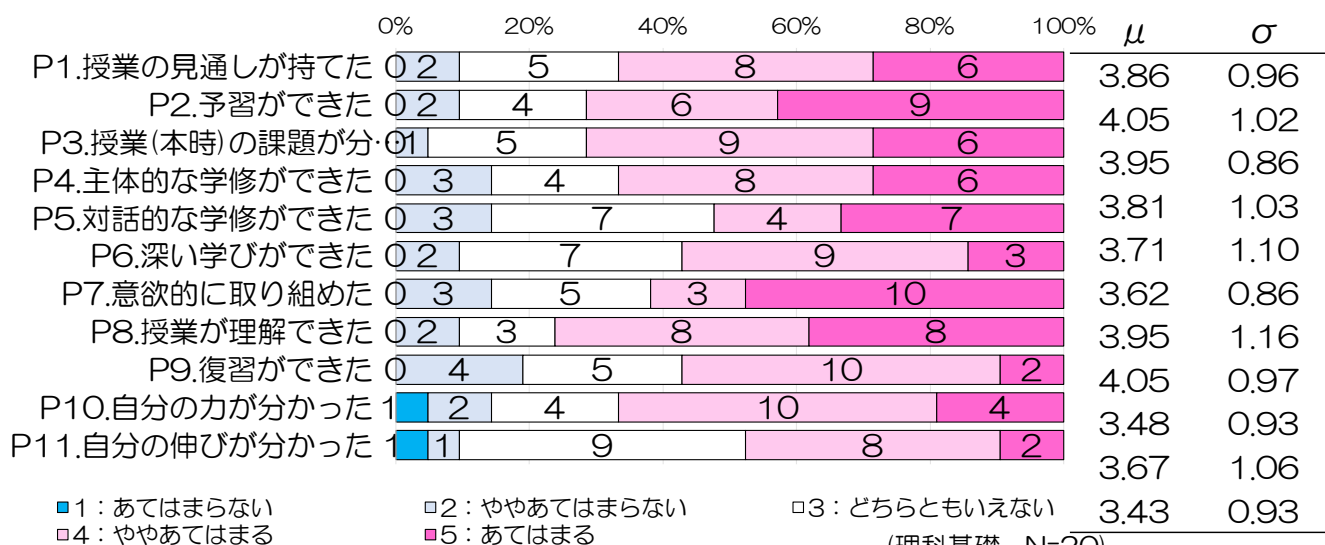
科学的な見方や考え方の指導ができた

+

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

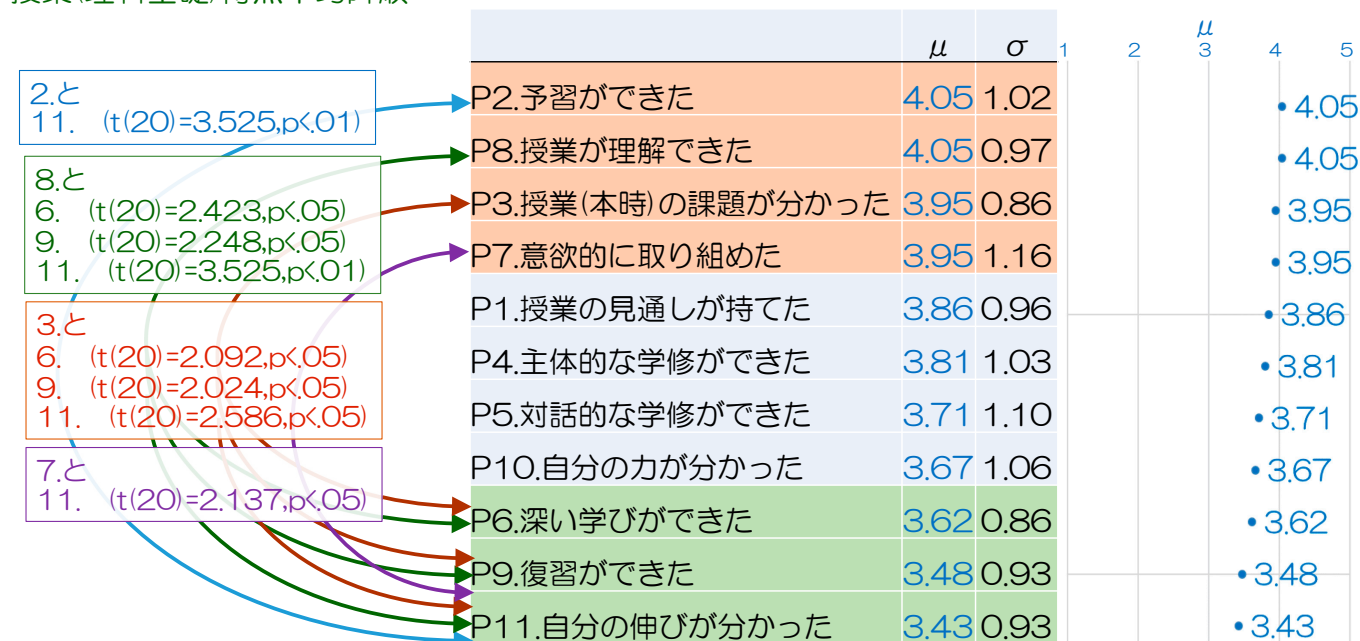
授業(理科基礎)

授業に関する質問(1～11問)の得点平均 ($\mu=3.78$, $\sigma=0.21$)が高い



研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

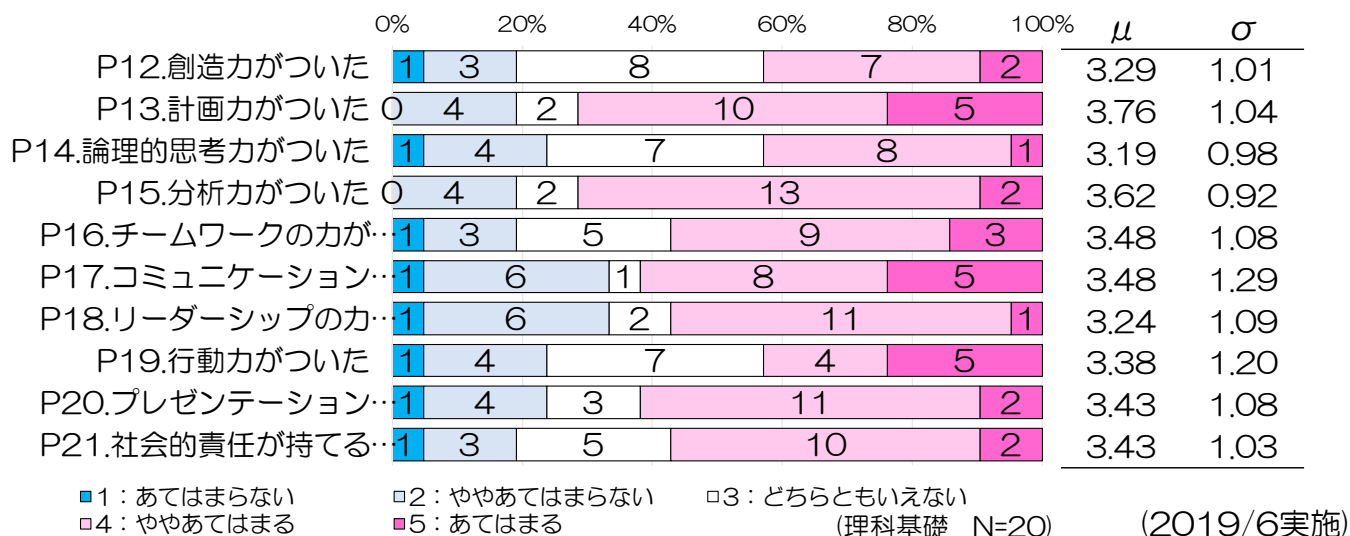
授業(理科基礎)得点平均降順



研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

能力(理科基礎)

能力に関する質問(12~21問) の得点平均($\mu=3.43$, $\sigma=0.17$)が高い



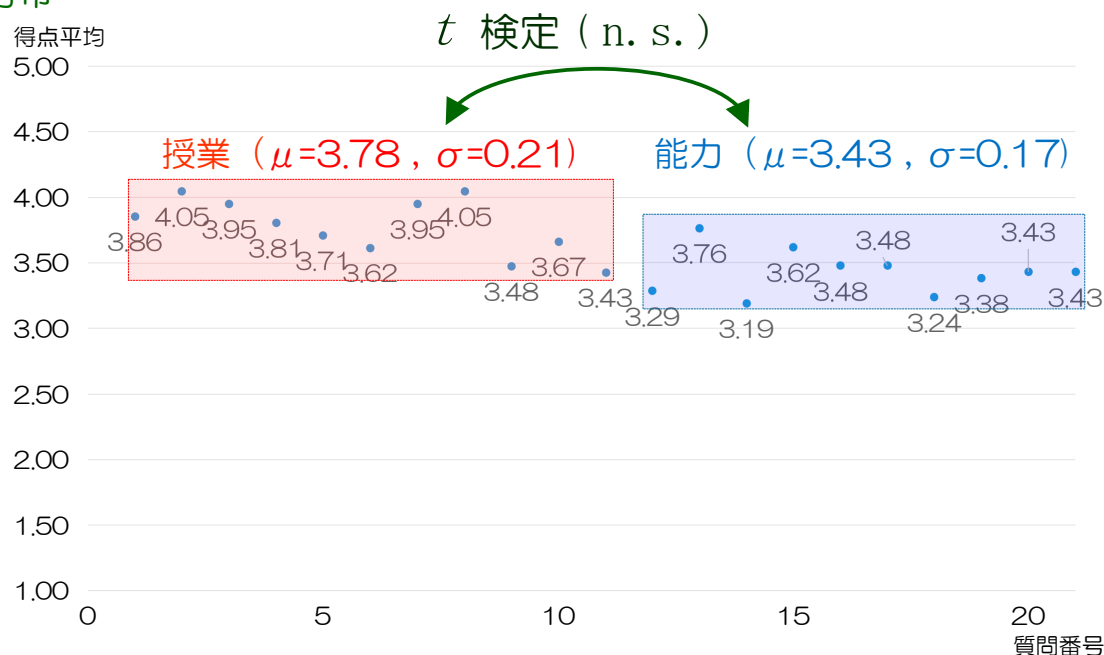
研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

能力(理科基礎)得点平均降順



研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

得点平均の分布



研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

「9.復習ができた」以外は、2項間に「高い」または「中程度」の相関が認められる。

授業に関する質問の相関係数

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
1.授業の見通しが持てた	-									
2.予習ができた	.616**	-								
3.授業(本時)の課題が分かった	.712**	.624**	-							
4.主体的な学修ができた	.626**	.578**	.663**	-						
5.対話的な学修ができた	.572**	.545*	.720**	.742**	-					
6.深い学びができた	.592**	0.361	.643**	.644**	.615**	-				
7.意欲的に取り組めた	.753**	.591**	.745**	.786**	.731**	.629**	-			
8.授業が理解できた	.594**	.700**	.834**	.707**	.573**	.617**	.754**	-		
9.復習ができた	.136	.028	.279	.047	.091	.175	.115	.250	-	
10.自分の力が分かった	.439*	.336	.471*	.760**	.554**	.507*	.674**	.547*	.067	-
11.自分の伸びが分かった	.352	.663**	.464*	.614**	.518*	.402	.439*	.642**	.042	.609**

** : $p < .01$, * : $p < .05$

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会										
2項間に「高い」または「中程度」の相関が認められる。										
能力に関する質問の相関係数										
	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
12.創造力がついた	-									
13.計画力がついた	.496*	-								
14.論理的思考力がついた	.752**	.584**	-							
15.分析力がついた	.555**	.629**	.804**	-						
16.チームワークの力がついた	.744**	.550**	.714**	.746**	-					
17.コミュニケーション力がついた	.737**	.757**	.755**	.792**	.872**	-				
18.リーダーシップの力がついた	.572**	.535*	.750**	.792**	.749**	.804**	-			
19.行動力がついた	.525*	.354	.698**	.589**	.663**	.554**	.842**	-		
20.プレゼンテーション力がついた	.527*	.585**	.772**	.779**	.721**	.747**	.931**	.833**	-	
21.社会的責任が持てるようになった	.648**	.519*	.808**	.815**	.619**	.781**	.840**	.629**	.775**	
**: $p < .01$, *: $p < .05$										
研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用										

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

学修ポートフォリオ

得点平均が有意に高い

- 「2.予習ができた」($\mu=4.05, \sigma=1.02$)
- 「8.授業が理解できた」($\mu=4.05, \sigma=0.97$)
- 「3.授業(本時)の課題が分かった」($\mu=3.95, \sigma=0.86$)
- 「7.意欲的に取り組めた」($\mu=3.95, \sigma=1.16$)

ティーチングポートフォリオメタデータ
「内容」「特色」
「活用支援(利用注意)」

加筆されたティーチングポートフォリオメタデータが学生へのフィードバック

学修ポートフォリオに自分の課題を記載し、次時の課題や留意点を明確

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用



学修ポートフォリオ

得点平均が有意に高い

「13.計画力がついた」($\mu=3.76, \sigma=1.04$)

「15.分析力がついた」($\mu=3.62, \sigma=0.92$)



ティーチングポート
フォリオメタデータ
「内容」「特色」
「活用支援(利用注意)」

模擬授業をするために
平均3時間の家庭学習

調べ学習や学習指
導案の作成などの
授業の準備

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

学修ポートフォリオ

得点平均が有意に低い

「P6.深い学びができた」($\mu=3.62, \sigma=0.86$)

「P9.復習ができた」($\mu=3.48, \sigma=0.93$)

「P11.自分の伸びが分かった」($\mu=3.43, \sigma=0.93$)



三つのポリシーへの反映

研究報告1 学びの記録と質の保証のための学修ポートフォリオの活用

研究報告2

学生の研究資料の記録と
質の向上を目指して

井上 透

スライド 21

スライド 22

研究報告2 学生の研究資料の記録と質の向上を目指して

1. 学生の研究活動

(1) 基礎教育の後半 (2～4年生)

基礎科目や専門科目について、予習や復習、課外活動を中心に学びを深め、発展的学習を行う。

(2) 卒業論文 (3～4年生)

基礎教育の後半 (1) を発展させ、アウトカムとしての論文に取りまとめる内容



ディプロマポリシーに準拠した研究

・文化創造学部：見学の精神に基づき、広く豊かな教養と初等教育・文化事業に関する高い専門知識や技能を身につけ、主体性をもって地域社会で活動できる人材を育成

卒業論文のデジタル保管と活用

教育研究資料デジタルアーカイブ活用

・地域連携研究資料 ・岐阜県地域文化資料 ・全国地域資料等 ・私立大学ブランディング事業資料 ・デジタルミュージアム ・岐阜女子大学デジタルアーカイブ研究 (50周年)

スライド 23

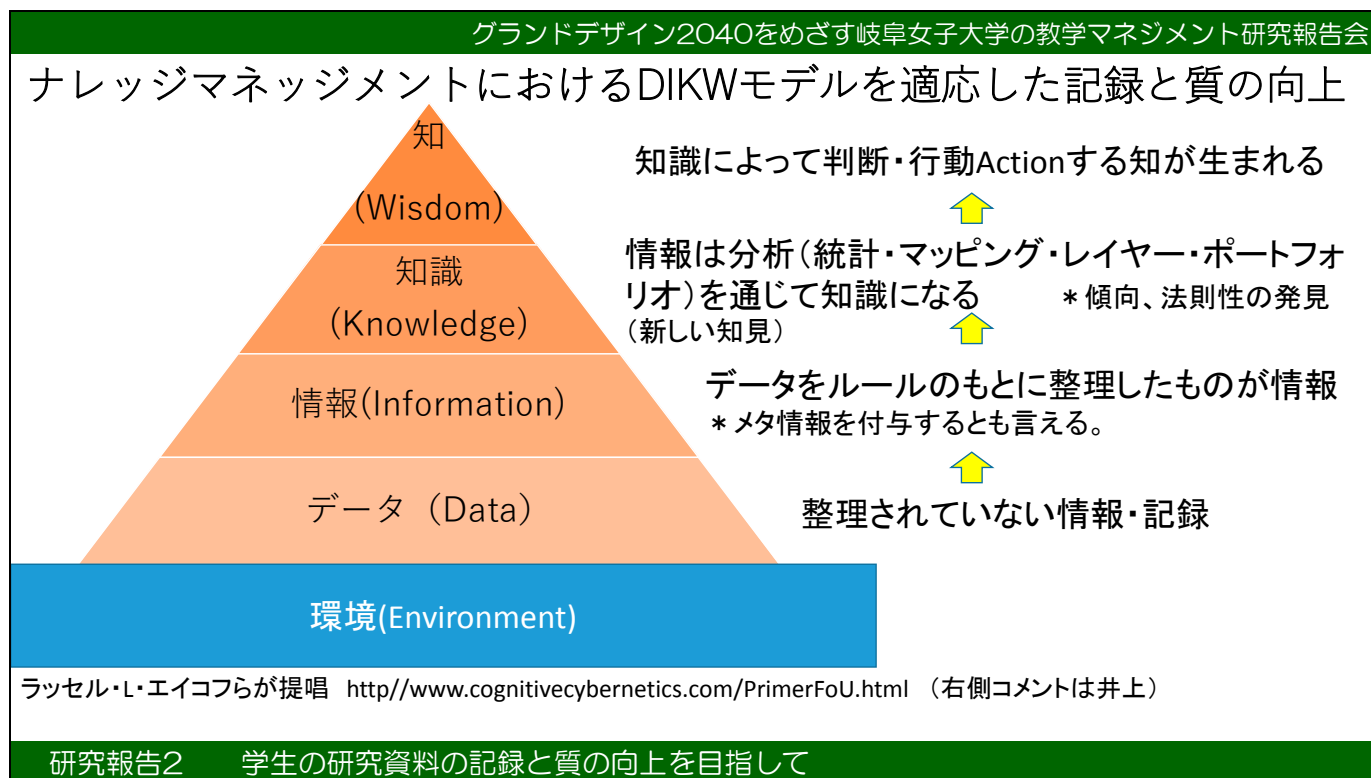
意思決定と情報処理

- ・管理の行動科学によれば、サービス組織における活動のほとんどは、**意思決定と情報処理**である。
- ・情報と意思決定プロセスの分析における重要な要因は、個人の**情報処理能力の限界とその限界の中での意思決定**である。

(カーネギーメロン大学 リチャード・サイアート、ジェームズ・G・マーチ、ハーバート・サイモン)



デジタルアーカイブ活用の必然性



グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

イノベーションとデジタルアーカイブ

イノベーションとは“**新結合**”

「今あるものの、新しき組み合わせ、新しい結合である。」
シュンペーター(1883-1950) 経済学者

- デジタルアーカイブをベースにした知識基盤社会は、過去・現在の多様な情報を組み合わせ、新たな価値を創造する環境の実現である。
- 学生の研究資料・記録の質の向上がこの前提
- セレンディピティー、AIに依存しない偶然的な出会いや思いがけない発見が文化創造には必要。デジタルアーカイブによる学生の研究資料の蓄積はこのプロセスをサポートする。

研究報告2 学生の研究資料の記録と質の向上を目指して

学生の研究資料の記録と質の向上を目指した行動計画

- 大学全体のデジタルアーカイブ化基準の策定
- 人材養成・人材確保
- 現状のデジタルアーカイブ状況調査と大学認証評価に向けた整理
- 上記に対応したシステムの改善計画策定
- ジャパンサーチ（内閣府と国立国会図書館が開発した分野横断総合デジタルアーカイブポータル）への地域資料を中心としたデータ提供による大学の認知度・ブランディング戦略計画策定

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

研究報告3

卒論のデジタル保管と活用

櫛 彩見

スライド 27

スライド 28

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

卒業論文のデジタルアーカイブ

- 目的

学生が課題を解決し、その成果を正しく論理的に整理し、他の人が利用できるように保管・流通させ、さらに次の課題解決に適用できる卒業論文のデジタルアーカイブ化を学ぶ。
- 後輩となる学生が研究の参考資料として活用することが可能

新たな研究成果

→

大学の発展へ

研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

スライド 29

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

卒論デジタルアーカイブの現状

- 2017～2018年度の2年分を蓄積
- 356件の卒業論文、修士論文を保管
- 本学のグループウェア「サイボウズ」により学内であればいつでも閲覧可能

学生研究活動デジタルアーカイブ

タイトル (表紙)	氏名	所属 (学部)	キーワード	研究領域	特色、キャッチコピー、アピール	要旨
日本の観光地をテーマにしたデジタル学習教材の開発	手塚 郁子	文化創造学部 研究科	旅行業務取扱 管理書試験、観光地、デジタル学習教材、観光教育、写真利用	観光情報学	・デジタル学習教材の作成とその利用効果の調査を実施した。 (写真と文字だけのデジタル教材よりも、音声付で目と耳の両方でインプットしていくことが効果的であると回答を得た)。 ・写真データの許諾の現状を明らかにした。 (アニメについての観光地を紹介するための写真データ申請が、大変難しい状況で、同じプロダクションの中でもアニメの素材について担当者が違い、回答の内容も違いがある等があった)	http://naibu.sijodai.ac.jp/sda/2018/20175340021.pdf
幼児の言葉を豊かにするための指導方法の考察～児童文化財を用いた活動での試みから～	呉那 穂 幸穂	文化創造学部	幼児、児童文化財、言葉、援助、言葉遊び	教育学	保育に携わっており、保育をする中で幼児の言葉を豊かにするための援助方法に関心を持っている保育者に見てほしい。今後の課題に関しては、ゲームの基盤やお題・絵本の選定基準などを明確にすること、取り組む内容をついに絞った研究・分析の方法、職員への事後のアンケート調査等に取り組むこと。更に今回は実施期間が短かったため、長期的に取り組むと子ども達の変化も見られ、より正確なデータが取れたのではないかとと思われる。	http://naibu.sijodai.ac.jp/sda/2018/20154135461.pdf
児童の漢字の「書き」の定着率向上のための指導方法に関する研究～「書き」の指導実践を通して～	呉那 亮子	文化創造学部	漢字の「書き」、指導方法、口語法、定着率、精読法	教育工学	・教育出版『ひろがることば 小学国語』の名字年の漢字学習の内容の分析を行った。これは新出漢字の指導の際に活用できると考える。 ・口語法では漢字の「形」を重視するため、「読み」や「使い」の指導に工夫が必要であることの示唆を得たこと。	http://naibu.sijodai.ac.jp/sda/2018/20154135461.pdf
児童の興味・関心を引き出すデジタル教材の開発～福祉車両を通じた学びから～	溝名 友 梨香	文化創造学部	小学校社会科、福祉車両、デジタル教材、教材開発、授業実践研究	教育学	・写真や動画などの教材を児童は好む。 ・文字が多いとデジタル教材でも興味・関心は下がる。	http://naibu.sijodai.ac.jp/sda/2018/20154135431.pdf

研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

14

デジタルアーカイブ化の流れ

日程	内容
2月下旬～3月	入力表（卒論のメタデータ）の提出
	入力表の内容をデータベースへ登録
	卒業研究データの提出（本文、資料等）
4月	データベースから全入力表を書出・修正・追加
	卒業論文デジタルアーカイブへの追加
5月	卒業研究データのうち、要旨と本文をPDF化 透かしやパスワードの設定
5月中旬	卒論デジタルアーカイブ化の完了・報告

デジタル
アーカイブ専攻
1、2年生がDA化

研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

卒業論文のメタデータ項目

項目	説明
タイトル	卒論の題目
氏名	学生氏名（複数可）
学籍番号	学生学籍番号（複数可）
指導者	主査、副査
所属	岐阜女子大学○学部○学科○専攻
キーワード	検索に必要な単語
研究領域	学術的な研究領域
小分類	専門的にどの分野にあるか
活動種類	卒業論文、修士論文、研究報告等
作成年月	卒論等の提出日

項目	説明
要約	卒論等の要約（抄録）を他の人が理解できるように400字以内にまとめて書く
データ	卒業論文をデータベースに提出できる場合は「登録」、そうでない場合は「未登録」
特色	卒論等の研究・活動を他の人にアピールできる事項を箇条書きで記入 ● 研究（卒論等）について見てほしい、知ってほしい、使ってほしい特色 ● 新しい結果（発見、方法、新しいデータ、理論、作品、失敗など）について

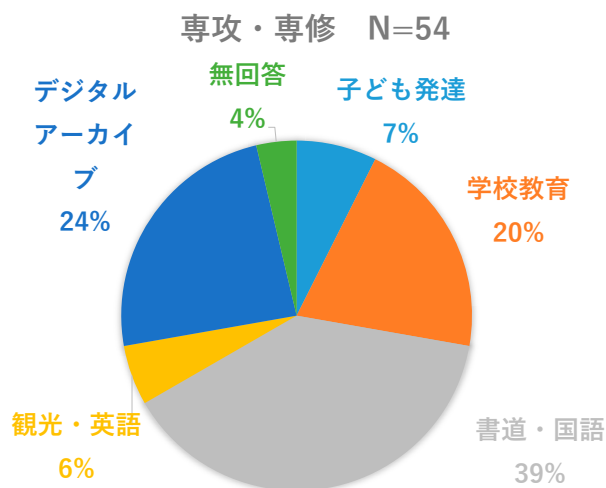
研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

卒論デジタルアーカイブの活用調査

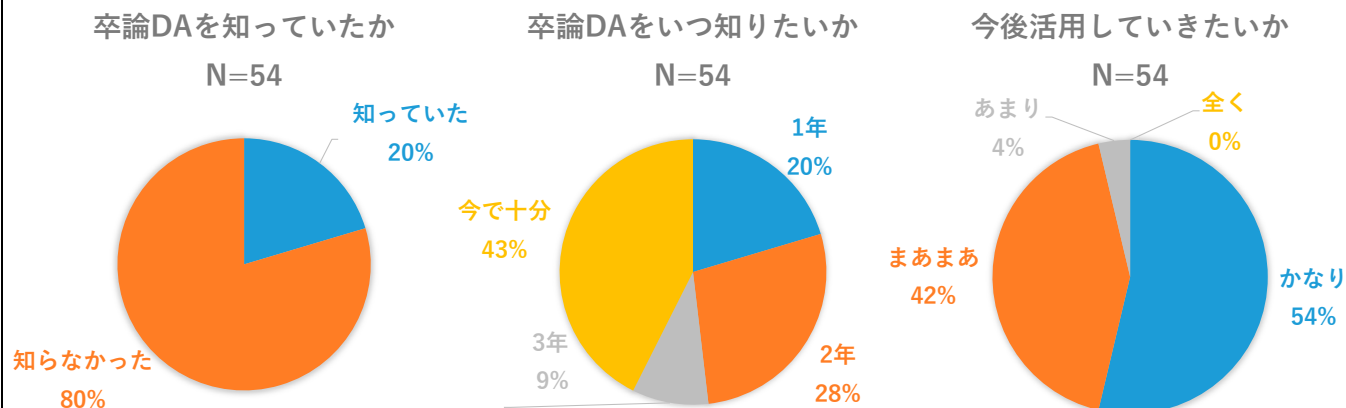
- 文化創造学部
基礎演習での活用
- 家政学部・文化創造学部
卒業研究における活用

文化創造学部 基礎演習での活用

- 日時：2019年5月21日
- 授業：基礎演習
(3年生、必修科目)
- 内容：卒論デジタルアーカイブの
紹介・使い方説明・活用
- 授業後にアンケート調査を実施



文化創造学部 基礎演習での活用



研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

家政学部・文化創造学部 卒業研究における活用

- 日時：2019年7月
- 授業：卒業研究
(4年生、必修科目)
- 内容：ゼミ・研究室での研究活動

- 一部の指導教員に協力を依頼
- 卒業研究の中で卒論DAを何かしらの目的で活用
- 実施後、アンケート調査

学生研究活動DAを活用しよう！

学生研究活動デジタルアーカイブとは？
卒業論文をデジタルアーカイブ化したものです。皆さんの卒業論文がデジタルアーカイブ化することで、①研究結果を広く後進に提供できる、②後進たちが利用できるように保存・流通させる力を身につけることができると考えています。

DA化する利点は？
①後進たちが卒業論文を参考・活用しやすくなります！
②それにより、研究内容がスナップアップ！
③すばらしい研究結果や、新しい研究が期待できます！
④そして①に戻って次の後進が受け継ぎ、大学の発展へ！

学生研究活動デジタルアーカイブを使ってみよう！

①アクセス方法
サイボウズのトップページにアイコンがあります！クリック！
気になる卒業論文があったら、書の一覧にある「レコードを閲覧する」ボタンをクリック！
要旨や一部の卒業論文の閲覧が可能です。

②絞り込み表示
学科専攻による絞り込み表示ができます。

③レコード検索
フリーワードによる検索が可能です。
詳細検索機能を使うと、もっと絞り込んだ検索ができます。
ただし、あいまい検索はできないので、検索ワードに注意！
例）「れんこん」で検索した場合、レンコンや蓮根は見つかりません！

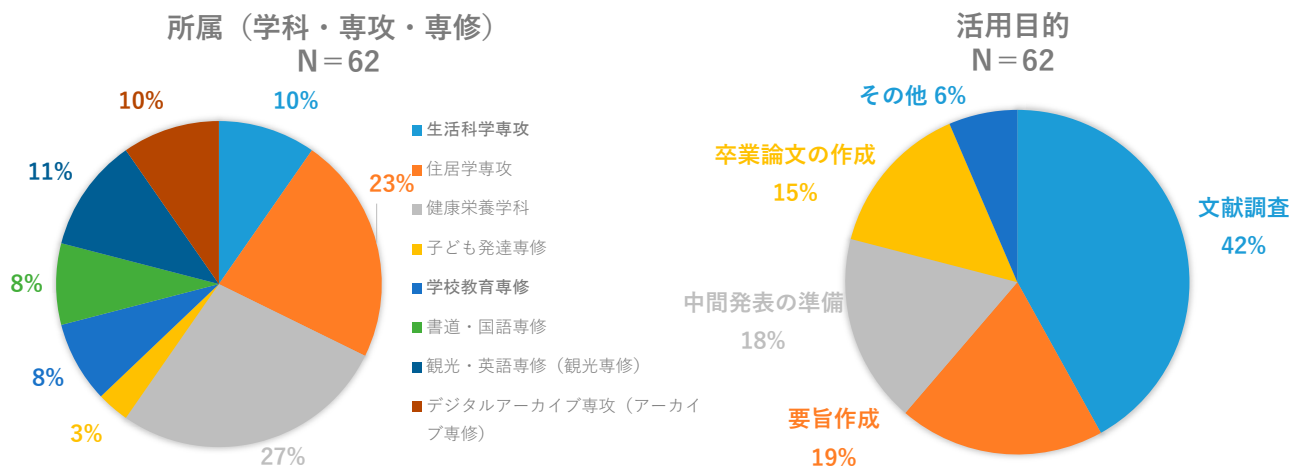
学生研究活動デジタルアーカイブ

学生研究活動DAで、充実した卒業研究ライフを！

アンケートにご協力ください
学生研究活動デジタルアーカイブの使いやすさの向上、発展のために、アンケートにご協力ください。スマホ可！
アンケート結果はDAの改善や研究に活用させていただきます。

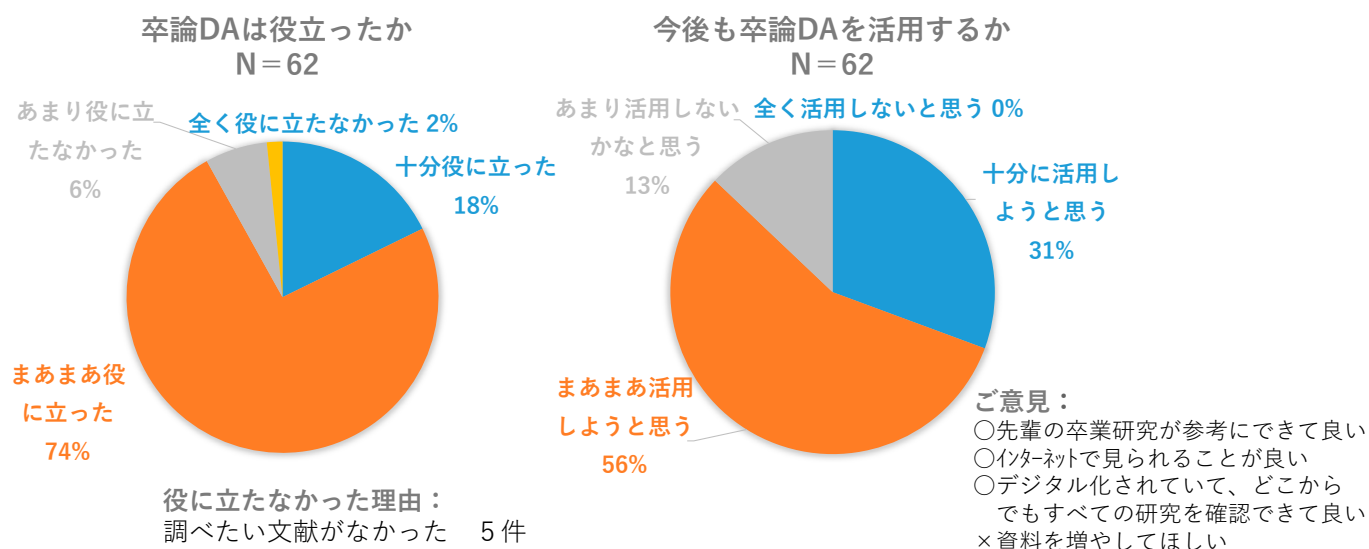
研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

家政学部・文化創造学部 卒業研究における活用



研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

家政学部・文化創造学部 卒業研究における活用



研究報告3 卒論のデジタル保管と活用

まとめ

- 卒論デジタルアーカイブを活用したいと思う学生が96%
- 実際に活用したところ、92%の学生が役立ったと答えた
- ネットワーク経由でいつでもどこでも検索・閲覧できる
⇒デジタルアーカイブの利点
- 今後の課題
 - 蓄積された卒論が2年分のため資料が少ない
⇒今後も卒論のデジタル保管を継続することで対応
 - 卒論デジタルアーカイブの周知時期
⇒検討が必要
 - 卒業研究終了時に再調査

研究報告4

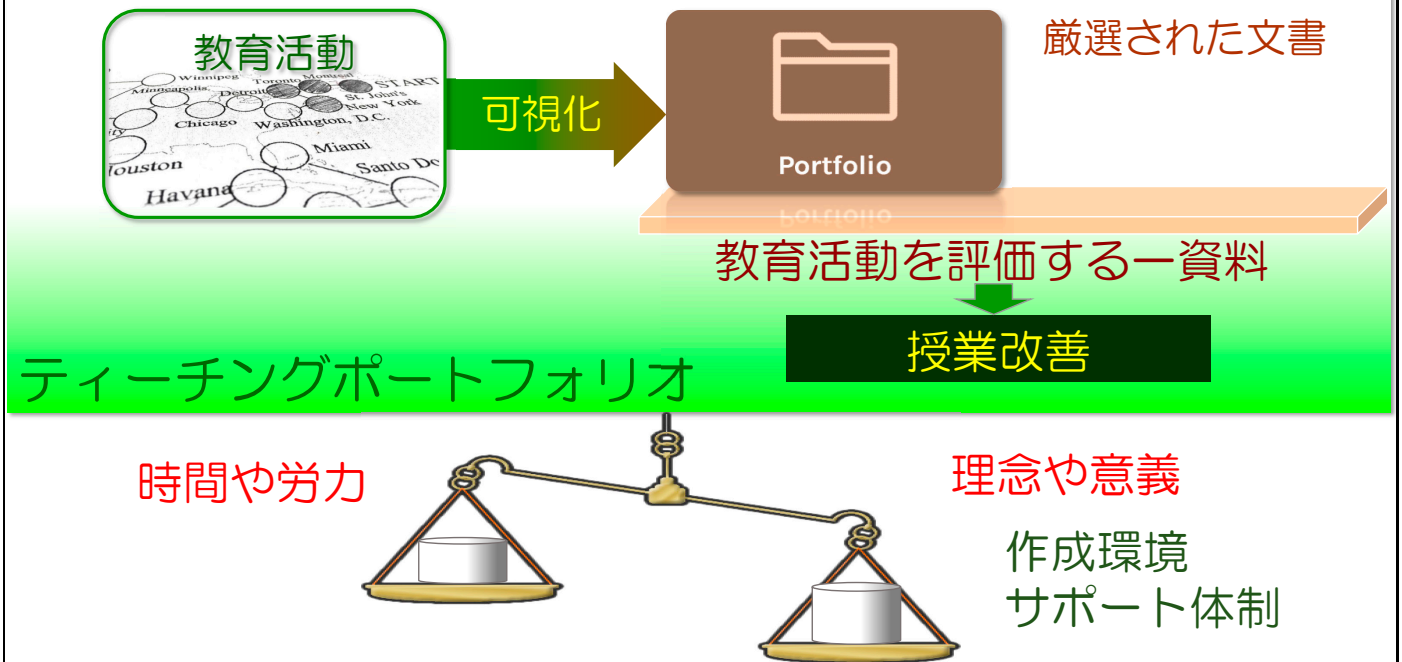
ティーチングポートフォリオを用いた
授業の改善と教育の質の向上

横山隆光

スライド 39

スライド 40

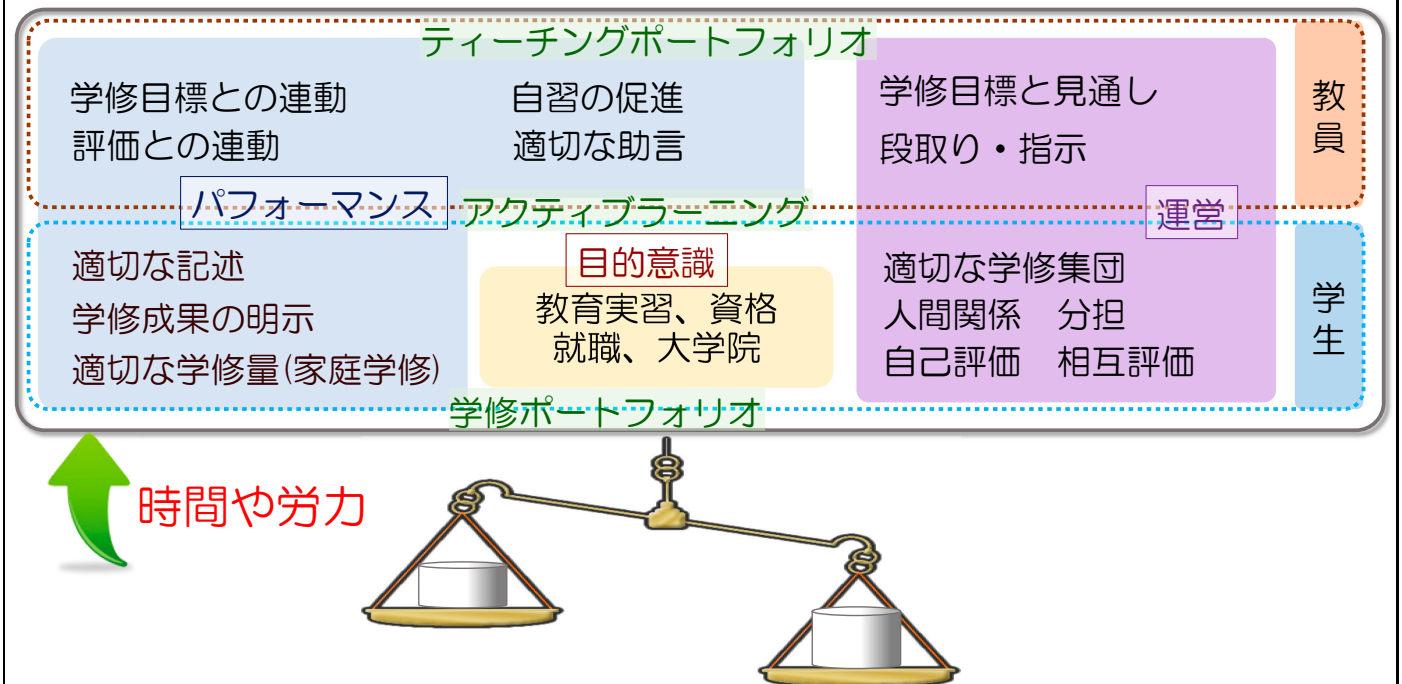
グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会



研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

スライド 41

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会



研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

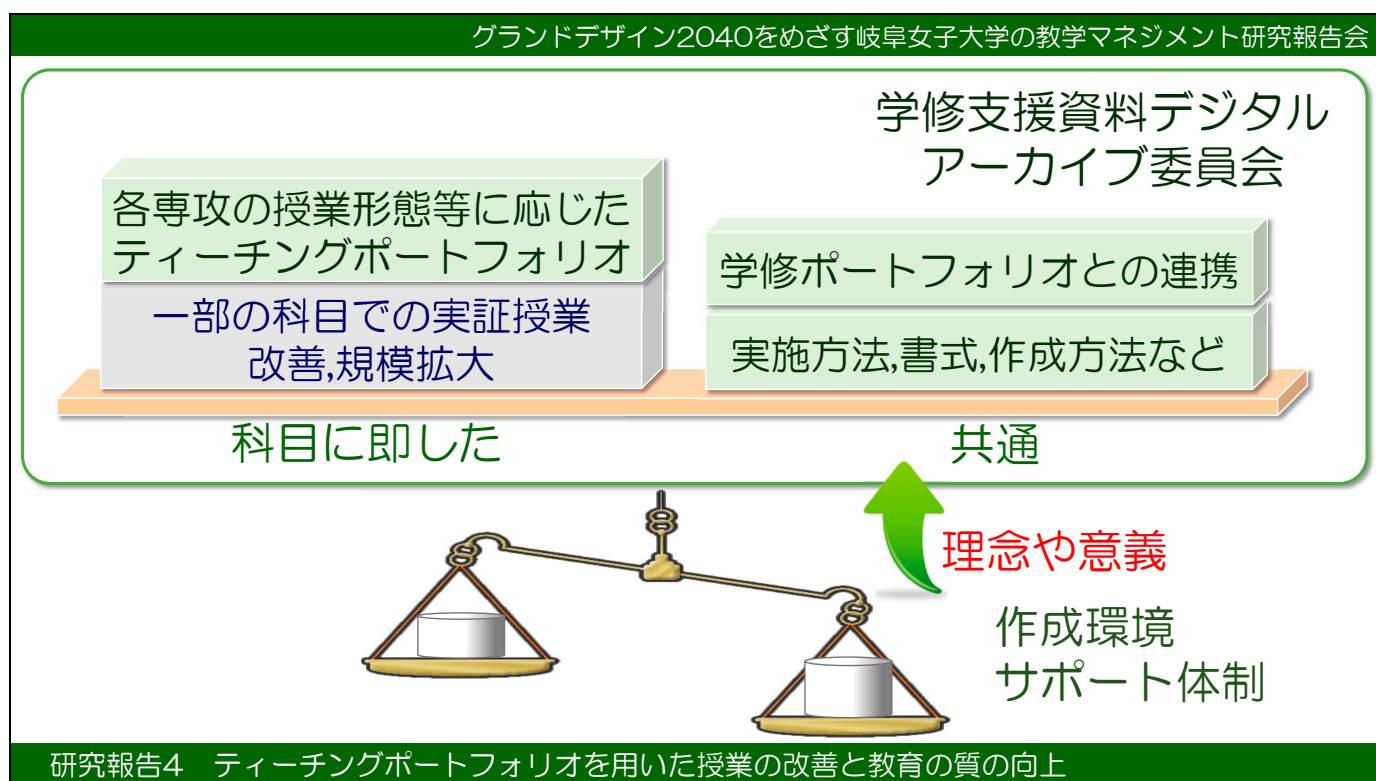
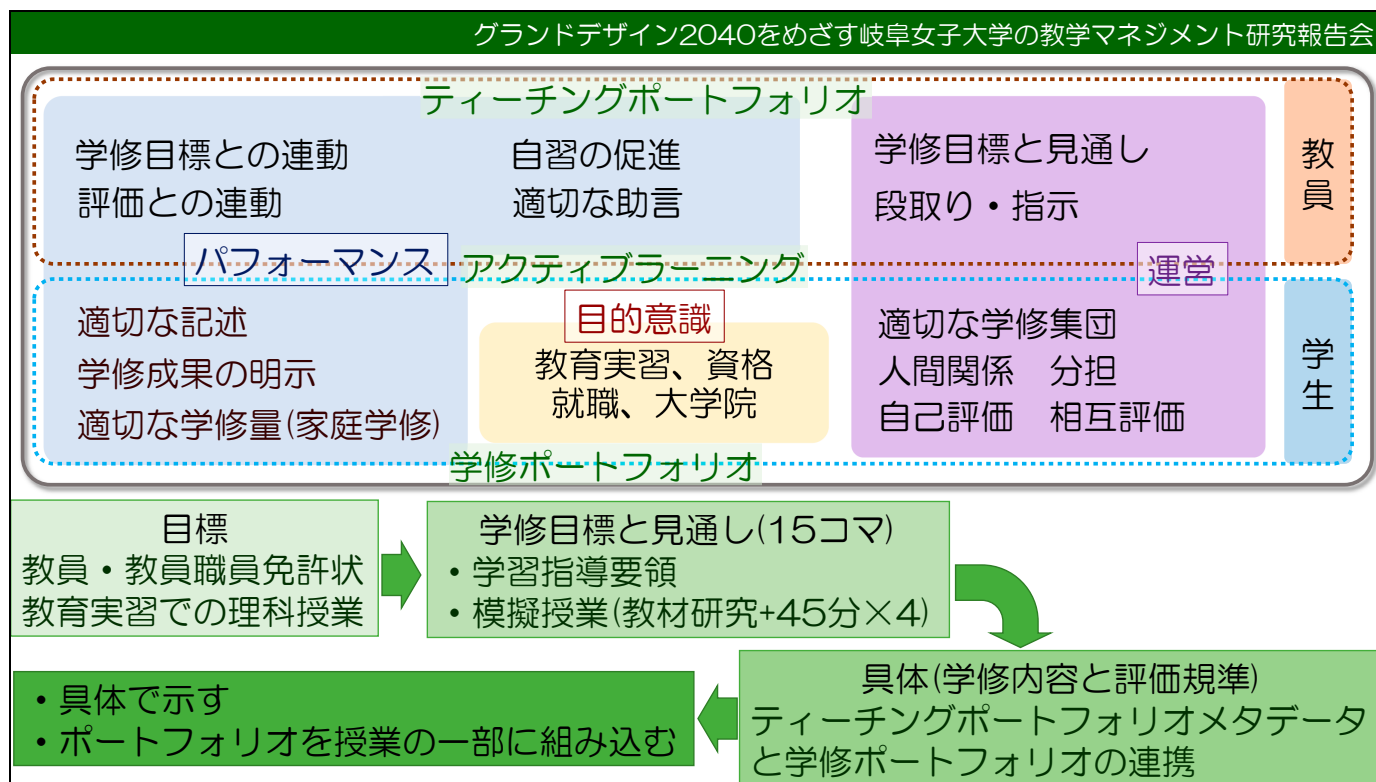


Figure 4 illustrates the relationship between the Teaching Portfolio, Evaluation Items, and the Quality Improvement of Education. The central box is 'ティーチングポートフォリオメタデータ' (Teaching Portfolio Meta-data). It is connected to 'ティーチングポートフォリオ' (Teaching Portfolio) and '評価項目' (Evaluation Items). Arrows point from these to '教育活動の見直し' (Re-examination of Educational Activities) and 'シラバス' (Syllabus). A large green box at the top right says '主体的な学び' (Active Learning).

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会



**サイボウズ
ティーチングポート
フォリオボタン**

**閲覧
編集**

表題名 (ふりがな)	資料名 (ふりがな)	作成者	索引語 (キーワード)	内容
理科基礎 No.2 (りかきそ)	理科基礎テキスト2019 p.11~20 (りかきそでぎす と)	横山隆光	理科基礎、物質、エネルギー、指導法、学習指導案、学習指導要領	1 学習指導要領 理科改定の趣旨 理科の目標の在り方 教育課程の示し方の改善 教育内容の改善・充実 学習・指導の改善 充実や教育環境の充実等 2 理科改定の要点 3 理科の内容構成 単元のつながり 追加した内容、移行した内容 資質能力を育成する学びの過程 課題 理科と主体的・対話的で深い学びの実現

サイボウズのティーチングポートフォリオ一覧

研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

表題名（ふりがな）	理科基礎 No.2（りかきそ）
資料名（ふりがな）	理科基礎テキスト2019 p.11-20（りかきそてきすと）
作成者	横山隆光
内容分類	教育実践
内容細目	小学校理科
対象時代・年	2019/3/30
地域・場所	岐阜女子大学
索引語（キーワード）	理科基礎,物質,エネルギー,指導法,学習指導案,学習指導要領
内容	1 学習指導要領 理科改定の趣旨 理科の目標の在り方 教育課程の示し方の改善 教育内容の改善・充実 学習・指導の改善充実や教育環境の充実等 2 理科改定の要点 3 理科の内容構成 単元のつながり 追加した内容、移行した内容 資質能力を育成する学びの過程 課題 理科と主体的・対話的で深い学びの実現 評価 ①単元のつながりの理解 ②観察、実験の意味 ③観察、実験の方法(安全指導を含む)
特色	・「小学校学習指導要領解説 理科」を活用して、単元のつながり、追加した内容、移行した内容、資質能力を育成する学びの過程についての概要を掴むことができる ・テキストを活用して、小学校理科の改定の要点と各単元のつながりを掴むことができる ・「観察、実験の手引き詳細」を活用して、「観察」「実験」と、主体的・対話的で深い学びの実現の関係を掴むことができる
活用支援（利用注意）	・授業前に「小学校学習指導要領解説 理科」を読んで、理科の内容構成の要点をまとめておく http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/1387014.htm ・授業前に「小学校理科の観察、実験の手引き詳細」「観察」「実験」と、主体的・対話的で深い学びの実現の 要点をまとめておく http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/sensei-ouen/1304651.htm ・Evernoteでポートフォリオ作成(本時のまとめ、グループの話し合い、レポート等) ・授業後にテキスト、参考資料を用いて、本時のまとめのレポート作成
振り返り	

サイボウズのティーチングポートフォリオ閲覧画面

研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

レコードの登録
(※は必須項目です。)

ビュー
(すべて) ▼

表題名 (ふりがな) *		授業科目名およびコマ数を記入してください。
資料名 (ふりがな) *		授業で使用した資料の情報を記入してください。
作成者 *		作成した教員氏名を記入してください。
内容分類 *		授業内容に関連する分類を記入してください。
内容細目 *		授業内容に関連する細目を記入してください。
対象時代・年 *	---年 ▼ ---月 ▼ --日 ▼ 現在 ☐	授業を実施した日を選択する。
地域・場所 *		授業を実施した場所を記述してください。
内容 *		授業にて実施した内容を記入してください。
特色 *		授業の目的やポイント、学生の様子などを記入してください。
活用支援 (利用注意) *		授業を実施する上で、使用した資料の情報や予習・復習・課題への活用方法を記入してください。
振り返り		授業の終えて、成果や問題点、評価などを記入します。

サイボウズのティーチング
ポートフォリオ登録画面

教員：閲覧、登録
学生：閲覧

教員：閲覧、登録

研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

理科基礎2019

理科基礎2019/5/29 7コマ

①日時 5月29日 水曜日 3時間
目 小学校理科 模擬授業1

②キーワード 理科基礎,物質,エネルギー,指導法,学習指導案,4年,模擬授業,金属,水,空気と温度,7コマ

③課題 安全指導に配慮し、子どもの疑問から作られた課題を解決する方法を考えさせる。

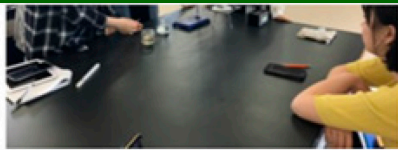
④授業の様子
・状態変化の事例として身近な物質を取り上げ、子どもの疑問から気化した物質の行方や、凝固した物質の体積などに疑問を持たせる工夫ができていた
・疑問を解決するために、加熱器具(アルコールランプ、コンロ)を使って、安全に実験ができるよう指示をしていた
・模擬授業の学習指導案、記録写真、自己評価、他者評価、振り返り、改善案をポートフォリオ(Evernote)に記録し、学修の成果や課題を蓄積していた

Evernote

授業前
「①日時」
「②キーワード」
「③課題」

授業後
「④授業の様子」

「⑤振り返り(成果、課題、評価)」



⑤振り返り
・成果
子どもの疑問を引き出して、課題を設定する努力が見られた
安全に配慮して実験方法の説明をすることができた
時間を考慮して、氷に直接食塩を加えるなどの工夫が見られた
・課題
予備実験で、沸点に達するまで、または、凝固し終わるまでの時間を調べさせ、10分前後で実験が終われるようビーカーに入れる水、氷、食塩の量を調べておいて、あらかじめ次時させることが必要
火を使うときの実験台の整理整頓の徹底が必要
・評価
1グループ 教材研究・準備→A 模擬授業
→A 振り返り・指導案の改善→A

研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会

模擬授業の評価の観点(一部)

- ①実際の授業をイメージして真剣に取り組めたか
- ②安全な実験に配慮されていたか
- ③本時のねらいが達成されたか
- ④子供にわかりやすい展開となっていたか
- ⑤教師らしい、きちんとした話し方ができたか
- ⑥子供の意欲を高める発言ができたか
- ⑦なるべく指導案を見ないで授業ができたか
- ⑧45分間に収まったか
- ⑨板書はわかりやすく整理されて書いてあるか
- ⑩教師の発言は少なく、子供の発言が多くなっているか

研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会	
ティーチングポートフォリオ	
サイボウズの学生閲覧用2年「理科基礎」ティーチングポートフォリオメタデータ(一部)	
索引語 (キーワード)	理科基礎,物質,エネルギー,指導法,学習指導案,学習指導要領,磁石
内容	1 小学校4年生理科「磁石の性質」単元(1限) 「磁石の性質」単元の目標、内容 「磁石の性質」単元の教材研究 「磁石の性質」単元の学習指導案 2 理科の授業の進め方(1限) 主体的な授業の展開 本時の「課題」の設定 子どもの発話から課題を設定 3 模擬授業(2~3限) 授業者、記録者、評価者 教材研究・準備→模擬授業→振り返り・ポートフォリオ 課題 導入を工夫して児童の発話から課題を設定する No.3の評価 ①単元のねらいの理解 ②観察、実験の理解 ③学習指導案の作成 No.4-5の評価 ①教材研究・準備 ②模擬授業 ③振り返り・指導案の改善
特色	・「小学校学習指導要領解説 理科 第3学年 磁石の性質 目標と内容」を活用して、教材研究を行い、学習指導案を作成し、45分間の模擬授業を実施できる ・模擬授業を記録し、評価して、模擬授業の指導案や指導法の改善ができる ・模擬授業の学習指導案、記録写真、自己評価、他者評価、振り返り、改善案をポートフォリオ(Evernote)に記録し、学修の成果や課題を蓄積できる
研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上	

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会	
ティーチングポートフォリオ	Evernoteに記録されたティーチングポートフォリオ(理科基礎)
理科基礎2019/5/8 4コマ ①日時 5月8日 水曜日 3時間目 小学校理科 模擬授業1 ②キーワード 理科基礎,物質,エネルギー,指導法,学習指導案,学習指導要領,3年,磁石,4コマ ③課題 模擬授業：児童主体の授業とするために児童の発話から本時の「課題」を設定する ④授業の様子 ・「小学校学習指導要領解説 理科 第3学年 磁石の性質」の模擬授業を実施する・・・ ⑤振り返り ・成果 導入を工夫して児童の疑問を引き出し、児童の言葉で課題をつくろうとしていた。 模擬授業をiPadで撮影して授業の反省に役立てていた。・・・ ・課題 45分間の児童の実態に合わせて、課題を書く時間、考えさせる時間、実験の時間、まとめをノートに書く時間を想定できていない。模擬授業後に指導した。・・・ ・評価 1グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→A 2グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→B 3グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→A 4グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→B 5グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→A 6グループ 教材研究・準備→A 模擬授業→A 振り返り・指導案の改善→B	
研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上	

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会																
ティーチングポートフォリオ																
通番	学籍番号	グループ	1コマ	1コマ	1コマ	2コマ	2コマ	2コマ	3コマ	3コマ	3コマ	4コマ	4コマ	4コマ	5コマ	5コマ
			①学習指導要領の理解	②主体的・対話的で深い学びの理解	③児童の発話による課題設定の方法	①単元のつながりの理解	②観察、実験の意味	③観察、実験の方法(安全指導を含む)	①単元のねらいの理解	②観察、実験の理解	③学習指導案の作成	①教材研究・準備	②模擬授業	③振り返り・指導案の改善	①教材研究・準備	②模擬授業
1	2017413029	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
2	2018131001	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
3	2018131008	1	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
4	2018411001	4	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
5	2018411014	4	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
6	2018411016	4	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
7	2018413001	6	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
8	2018413002	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
9	2018413003	6	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
10	2018413004	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
11	2018413006	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
12	2018413008	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3
13	2018413011	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
14	2018413012	5	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
15	2018413013	6	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
16	2018413014	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3
17	2018413015	6	3	3	2	3	3	2	3	3	3	3	3	2	3	3
18	2018413016	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2	3	3
19	2018413017	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
20	2018413021	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
21	2018413022	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上																

グランドデザイン2040をめざす岐阜女子大学の教学マネジメント研究報告会																
全学的な教学のマネジメント					評価項目の決定					三つのポリシー改善のためのエビデンス						
教育内容と指導法の評価項目																
ティーチングポートフォリオ																
準備	T1	シラバス作成に役立った														
	T2	ティーチングポートフォリオメタデータ作成に役立った														
	T3	授業の教材作成に役立った														
	T4	学修成果の設定に役立った														
	T5	授業設計に役立った														
授業	T6	授業(本時)の課題設定に役立った														
	T7	主体的な学修に役立った														
	T8	対話的な学修に役立った														
	T9	深い学びに役立った														
	T10	学生の意欲を高めるのに役立った														
	T11	学生の理解を深めるのに役立った														
ティーチングポートフォリオ																
評価	T12	診断的アセスメントに役立った														
	T13	形成的アセスメントに役立った														
	T14	総括的アセスメントに役立った														
改善	T15	シラバス改善に役立った														
	T16	ティーチングポートフォリオメタデータ改善に役立った														
	T17	授業方法の改善に役立った														
	T18	授業の教材改善に役立った														
	T19	授業設計の改善に役立った														
家庭	T20	学生の予習に役立った														
学修	T21	学生の復習に役立った														
研究報告4 ティーチングポートフォリオを用いた授業の改善と教育の質の向上																